

五本木美術館 ～作品の見どころ～

令和8年 2月12日(木) 13:00～16:30

13日(金) 13:00～16:30

14日(土) 9:00～16:30 ※3日間とも最終入場15:30



令和7年度てんらんかいのテーマ「こころとからだをいっばいつかって 感じ、考え、つくりだそう」

絵・立体・やきものが一人1点ずつ出品されます。

	絵			立 体		五本木焼(やきもの)
1年	◇ひらいたはこのかたちから 空き箱をひらいて見ると、いろいろな形があらわれます。たてにしたり、よこにしたり、その形の楽しさから思い付いたことを表しました。	◇そらめさん 給食で食べるそらめめのかわむきをしました。ふかふかのおふとんからとびだしたそらめめ、たのしいお話を想像して絵にかきました。	◇はさみのあーと 白い紙をはさみで思いのままに切るのは楽しいな。切ってできた形をよく見て、置き方を工夫して表しました。	◇すごいどうぶつ 紙袋をくしゃくしゃにしたり、ぎゅっとしたり、ねじったり、ふくらませたりして、形を変えながら、自分がつくりたい「すごいどうぶつ」を考えました。火を吹く動物、空を高く飛べるように羽がたくさんついた動物など、様々な工夫をご覧ください。		◇なかよし 小さな土の塊からひねり出し、自分となかよしな〇〇を思いうかべながらつくりました。なかよしなものを想像してみてください。
2年	◇お花紙と絵のぐと・・・ 京花紙をそっとやぶいて並べたり、重ねたりして生まれる形や色から想像を広げていきました。思い付いたことを絵の具でかいていくと、紙にすうっとしみこんでいく感覚も楽しめました。	◇すべしやるな絵のぐでワンダーランド マシヨマロのようにふわふわなねんど、生クリームみたいにとろとろのねんどに色をまぜて、「すべしやるな絵のぐ」をつくることを楽しめました。指でかくのは気持ちがいいな。材料にふれながら思いが広がるワンダーランドです。		◇ダンボールのけんちくか 細長い段ボールは、折る、丸める、ねじるなどいろいろな形に変えることができます。どんどん重ねたり積んだりし、手ごたえを感じながら、2年生の「けんちくか」がダイナミックに形を立ち上げた作品です。タイトルにも注目してご覧ください。		◇おもいでのかたち 友だちと遊んだこと、自然にふれたこと、動物の世話をしたことなど、生活の中のちょっとほっとしたことや心に残るおもいでを、粘土で立体に表しました。
3年	◇光のさしこむところ 透明なシートに京花紙を水のりでぬって、何枚も重ね、かわかして、ぱりぱりはがして自分だけの和紙づくりを楽しみました。光がさしこむ和紙の色や形から想像を広げて、いろいろなペンを使って絵にかきました。	◇大地の土のおくりもの 身近な土を集め、ふるいにかけてガラスびんにつめました。全員の土を並べてみると、土はひとつひとつみんな色がちがいます。その土を絵の具にして、手すきの和紙にかき、大地の土のよさや面白さ、不思議さを感じ取りました。		◇森のものがたり 「森にはどんなものがたりがあるだろう」という問いから、想像を広げて自分だけの森をつくりました。細い針金と透明接着剤を使ってつくった木を、何本も組み合わせると、どんどん深い森になっていきます。一人一人の森のものがたりを感じてください。		◇みんなを見守るねん土さん かき出しべらや切糸などの用具を使って粘土の形を変えながら、「みんなを見守るねん土さん」をつくりました。ねん土さんの楽しい表情も竹串で工夫しています。
4年	◇布でえがいたら いろいろな布切れの形や色、ざわり心地を楽しみながら、コラージュの方法(貼って表す)で表した絵です。布の形をかえる、並べる、組み合わせるなどいろいろためして、自分の思いに合わせて表し方を工夫しました。	◇まぼろしの花 まぼろして何だろう。手やローラー、刷毛などを使い、大きな画面をまぼろしのイメージにぬりこめました。生まれた形や色を手がかりに、わたしだけに見えるまぼろしの花をかきました。		◇ラブ&ピースのトーテム・ポール 「わたしにとってのラブ&ピースとは」という問いをもとに、トーテム・ポールをつくりました。手引きのこぎりの手応えを感じながら、木材をどんどん積んでいくと、思ってもみなかった形が生まれてきました。テーマに合う色や材料を考えて立ち上げた作品です。		◇とり 五本木の森の木々には、いろいろな野鳥がやって来ます。鳥のさえずりやはばたきを思いうかべながら、赤陶土で形をつくりました。思いに合う羽の色や模様も工夫しています。
5年	◇心にさく花 18cm四方の小さなキャンバス4枚に、粉絵の具や水彩絵の具で思いのままにぬったりかいたりして生まれてくる形や色は、自分の心にさく花のようです。日常生活の中で感じたことや想像したことなど主題も様々です。	◇土でドローイング ドロドロの土粘土を手付けて、板の上でドローイング(絵をかくこと)しました。初めはおそろおそろ、だんだんとダイナミックに体全体の感覚を働かせました。自分の表したいことが伝わるように、粉絵の具も使いました。		◇重なる風景 板を切って、重ねて立てていくと奥行きを感じる風景が生まれます。板を横にずらしたり、組み合わせを変えたりしていろいろためしながら、自分のお気に入りの風景を立体に表しました。形がつくりだす動きの感じにもご注目ください。		◇和の小皿 板づくりの方法で粘土をのばし、いろいろな用具を使って和の模様をつけました。植物や生き物、風景など、それぞれのテーマでつくった小皿です。和菓子をのせてお茶にしましょう。
6年	◇でこぼこの絵 板を切って、並べて、重ねてできるでこぼこの形の面白さから、表したいことを考えました。何度も板を動かしてみる、彫刻刀でほってみるなどいろいろためして、形や色が響き合う構成の美しさをじっくりと考えました。	◇感じて 考えて これまでの絵の具や材料の経験を生かし、大きなキャンバスに挑みました。手でかいたり、太い刷毛でぬりこめたりして、変化していく形や色、質感などを手がかりに、体全体の感覚を働かせながら、自分の主題を構想していきました。		◇二つの空間から 「対にあるけれど、調和しながらバランスをとってつながり合っているものとは何だろう」という問いから、自分の主題を考えました。厚い板を切って二つの空間をつくり、そこから形や色、材料を選んで表しました。「光と影」、「動と静」、「虚と実」、様々な空間です。		◇水を感じて 白陶土を使い、水を感じる場所、風景などから想像を広げてつくりました。素焼きをした後にガラスのカレットを、色を考えて配置し、1250℃で焼成しています。
家庭科	5年	◇リメイク ランチョンマット ～ふわふわフードを添えて～ 家庭にある着なくなったTシャツや布などをリメイクしたランチョンマットを制作し、その上にフェルトで作った「ふわふわフード」を添えました。初めての家庭科作品として、思いを形にする楽しさや作ることの大変さを感じながら取り組みました。一人一人のアイデアが光る、楽しい作品をご覧ください。	◇思いの木(協働) 家庭科でつくった葉っぱの刺しゅうと、図工でつくった「あなたにプレゼント・アートワッペン」(刺繍作家の青山悟さんと授業)を、コラボレーションして一つの大きな木として完成させました。 針穴に糸を通すことから玉止めまで苦戦しましたが、挑戦し改善していく中で、葉っぱ1枚1枚の縫い目や形にも個性が溢れ出た作品になりました。	6年	◇もう一度、活躍の場を! これまでに身に着けた技能を活かし、実用的なりメイク作品作りに挑戦しました。昔着ていた洋服や眠っていた布製品から新たにバッグ、クッション、ポーチ、ティッシュケースなど生活に役立つものを一人一人が試行錯誤を重ねて作りました。「ものを大切にしていこう」そんな思いを込めた、細かな工夫や仕上がりにも注目してご覧ください。	◇鳥獣戯画(協働) 国語で学習した国宝の絵巻物「鳥獣戯画」をもとに、ウサギやカエルなどの姿を通して、それぞれが心に残っている学校生活の思い出を表現しました。細かい縫い目にも気を配って縫い進めたので、一人一人の表現とまとまりとしての6年間の成長と仲間とのつながりが込められた物語の両方をご覧ください。
空間展示 1年 ウェルカム・フラワー 2年 美術館ゲートの絵 3年 光のさしこむところ 4年 いきものたちのコトバ 5年 木々との対話 6年 空と私						

空間展示(協働)には、記名しておりません。